NITTOKU NEWS No.75
2019 夏季号

表紙イラスト／駒田寿郎

日本特殊塗料株式会社

■本　社	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6131	●FAX(03)3913-6183
■開発本部・開発センター	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0661～6	●FAX(03)3914-1085
■塗料事業本部			
東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	●FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10	☎(0463)23-2135	●FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	●FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	●FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	●FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	●FAX(0942)89-5762
DIY販売部	〒123-0865 東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001	●FAX(03)3919-6681
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)22-6423
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
九州工場	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5661	●FAX(0942)89-5411
■自動車製品事業本部			
営業統括部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0663	●FAX(03)3914-1085
東日本第1営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10	☎(0463)23-2132	●FAX(0463)23-3739
東日本第2営業所	〒374-0024 群馬県館林市本町2-5-47 TM21プラザ2階204号	☎(0276)75-1571	●FAX(0276)75-1578
中日本営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8112	●FAX(0566)82-4600
西日本第1営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
西日本第2営業所	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)23-3739
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
東九州工場	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200

●日本特殊塗料ホームページ　https://www.nttoryo.co.jp/

ニットクニュース、2019夏季号　日本特殊塗料株式会社

→この線に沿って折っていただきますと背表紙がつくれ、棚に立てることができます。

nittoku

ニットクニュース、

NITTOKU NEWS

No.75
2019夏季号

【特集】
ローカル線で行こう!

日本特殊塗料株式会社

NITTOKU NEWS No.75
2019 夏季号

C O N T E N T S

1 ご挨拶
代表取締役会長 野島雅寛

2~23 【特集】ローカル線で行こう!

INTERVIEW
4 ローカル線で日本再発見。
六角精児 ◉俳優

7 三陸をつなぐ、人をつなぐ。【三陸鉄道リアス線】

13 大自然と秘境駅を満喫。【JR飯田線】

18 宍道湖と出雲の田園を、のんびりと。【一畑電車】

22 山陰で日本の原風景に出会う。【JR木次線、JR境線】

24~27 ◉得意先を訪ねて
24 【東京・瑞穂町】高瀬塗料株式会社
26 【福岡市】川口吹付工業株式会社

28~33 ◉TOPICS
●お知らせ
28 「日本特殊塗料株式会社 創立90周年記念式典、祝賀会」を開催
●お知らせ
30 ■第113期「定時株主総会」を開催
■業務本部
30 「投資家向けの決算説明会」を開催
■塗料事業本部
31 「第3回全国日特会」を開催
■自動車製品事業本部
31 ニットクでの古着リサイクルの取り組みが、環境省「Re-Style」で紹介されました。
●お知らせ
32 『環境・社会報告書2019年版』を発行
■塗料事業本部
33 新製品「1液ウレタン防水塗料 プルーフロンC-200DX」のご案内

32~37 街を彩るニットクの製品

▲三陸鉄道リアス線

▲JR飯田線

▲一畑電車

▲JR木次線

▲JR境線

◉発行日 2019(令和1)年8月
◉企画・編集・発行 日本特殊塗料株式会社・広報委員会／坂口繁伸
◉表紙イラスト 駒田寿郎
◉制作協力 齋藤デザイン事務所

ご挨拶

◉代表取締役会長
野島雅寛

関係各位に誌面をお借りして日頃のご指導、ご鞭撻に対し衷心より御礼申し上げます。

今年は5月1日に元号が替わり、「令和」の御世がスタートしました。平成は30年と4カ月、この期間を振り返ってみると国内外でいろいろな出来事がありました。国内では政権がころころ替わり、そのたびに国の方針が目まぐるしく変化しました。経済面では、バブル崩壊により金融危機で多くの企業の倒産・吸収合併で企業数は減り、さらに賃金の安い、あるいは貿易摩擦を回避するために海外への生産移管で国内での生産が大きく減少しました。

一方、製造業の不正が表面化し、日本の物づくりの信頼が大きく揺らぎました。また、災害も数多く発生しました。雲仙普賢岳の火砕流、北海道南西沖地震、阪神大震災、その他多くの地域での地震、気候変化の影響での水害による多くの被害、極めつけは平成23年の東日本大災害、と多くの犠牲が出ました。犠牲になられた多くの方々に心から哀悼の意を表します。

国外に目を向けると、大きな出来事は「ベルリンの壁」の崩壊で東西のドイツが統一されたこと、そして、ソビエト連邦の消滅と中国が経済大国になったことだと思います。世界を巻き込む大きな戦争こそありませんでしたが、アメリカによるイラク攻撃やテロ等の局部的な争いは頻発しており、混沌としています。経済面でもリーマンショックで全世界が混乱に陥り、世界の経済が一体になっていることを痛感しました。また、災害においても世界各地で地震、津波、ハリケーン、洪水で多くの人が犠牲になりました。

令和の時代に入り数カ月経ちました。気候の変化は止まらず5月としては史上初めて30度を超す異常な状況が日本各地で発生しています。しかし、過去に起きたいろいろな出来事も日本は乗り越えてきました。今後いろいろなことが生じても対応は可能と信じます。ただし、大きな出来事もなく無難に経過してくれることを祈ります。

さて、当社は今年創立90周年を迎えました。この間、会社の存亡に係わるようないろいろな出来事がありましたが、皆様のご指導とご支援で乗り越え、90周年を祝うことができました。衷心より感謝申し上げます。最後になりますが、皆様のご多幸を祈念します。

特集

ローカル線で行こう!

車窓に広がるのどかな田園、キラキラと輝く青い海──。
日本の美しい風景を眺めながら、ゆっくりと移動できるローカル線。
ローカル線の旅の魅力は、その地の風景や味覚を楽しめ、風土に触れられることにある。
また、観光列車を運行したり、独自のイベントを開催する路線もあり、鉄道ファンも増えている。
のんびりと旅行ができ、旅情を味わえるローカル線を特集する。

3月23日に、東日本大震災からの復旧のうえ、全線開通した三陸鉄道リアス線の吉浜駅周辺で。のどかな海岸が美しい。

あと3路線で全線制覇

鉄道の旅は、行程すべてを楽しめます。目的地でレジャーを楽しむのもいいけれど、家を出てから帰るまでずっと旅情感に浸っていられるのが、鉄道旅の良さです。

どこへ、どのルートで行くかは、前日の夜、湯舟につかりながら時刻表を開いて決めます。宿泊先や飲食店、温泉は現地の観光案内所で紹介してもらったり、自分の勘で飛び込んだり。僕はガイドブックやインターネットの情報はほとんど見ません。すでに大勢の人が訪れている場所をなぞるよりも、偶然見つけたものの輝きは大きいし、後々まで記憶に残るから。旅先で知り合った方が僕の公演を見に来てくれることもあったりして、そんなつながりができるのも気ままな旅の喜びです。

ときには「あぁ、今回は車窓の風景も食事も良くなかったな」なんてこともありますが、そんな旅もよし。だってすごくマズイ料理なんて、それはそれで面白い体験だから（笑）。僕はSNSをしないし、写真も撮りません。自分だけの観光スポットを見つけて、記憶の中にだけとどめておく。情報化、共有化が当たり前の今の時代に、むしろちょっと贅沢な旅でしょう？

日本の鉄道はほぼ全線乗りました。民営鉄道はすべて記録しているわけではないので確かではありませんが、JRでまだ行っていないのは福岡県と山口県の3つの路線だけ。廃線になる可能性もあるので早く乗りたいのですが、運行本数が非常に少ないうえにアクセスも悪いので気軽には行けません。だ

からこそローカル線には地方色がしっかりと残されていて、そこが魅力でもあるんです。

30代後半に“乗り鉄”に

鉄道好きの中には、写真を撮るのが好きな人や車両好きな人などさまざまですが、僕はもっぱら“乗り鉄”。お酒を飲みながら車窓を眺めるのが大好きで、20年前からそれは変わりません。

鉄道に興味を持ったのは、神奈川県相模原市に住んでいた小学校低学年の頃。よく遊んでいた公園の前を小田急線が走っていて、ロマンスカーをカッコイイと思ったのが最初かな。自分を鉄道ファンと意識して、乗ることを楽しむようになったのは30代後半です。それまで劇団の公演や、好きな競輪で地方の路線に乗る機会がけっこうあったんですね。その移動時間が面白くなって、乗りたい路線もどんどん増えて、結果的にほぼすべての日本の鉄道路線に乗ることができたという感じです。

いまでこそ鉄道オタクはメディアなどに好感を持って迎えていただけるようになりましたが、20年前は“オタク”という言葉もまだネガティブなイメージでした。社会的認知度も低かったです。それが多様化の中で受け入れられるようになり、最近は女性の鉄道ファン“鉄子”も増えました。実際、鉄道好きは本当に多いですよ。いま、全国的に観光列車が人気ですが、そのブームを盛り上げているのが大勢の潜在的鉄道ファンでしょう。とくに地域色が濃いローカル線は人気です。鉄道というインフラを、別の角度からファンが動かしている。そう考えると、ちょっと誇らしい気持ちになります。

夜行列車の車窓もいいですよ。窓の向こうは真っ暗闇。ガタンゴトンという列車の音しか聞こえない中でふと考えるのは、仕事のことやプライベート、人間関係……。「あれは楽しかったな」とか「悩んでいても仕方がない。いい区切りだから忘れよう」とか。通過する駅の灯りや窓に映る自分の顔に、ふと我に返ることもあります。物思いにふけったり、現実に戻ったり。ゆっくりとした時間の流れの中で自分を振り返ることができる旅は、何ものにも代え難い魅力です。ですから、観光列車が人気を集める一方、夜行列車が次々と廃止されていくのはとても残念です。

旅先のスナックに寄るのも楽しみの一つです。店選びのポイントは、味のあるシブい外観。大抵、町の一番はずれにあって、人生経験豊富なママが迎えてくれます。そんな“ヴィンテージママ”や“ヴィンテージ常連客”との触れ合いもまた、至福のひと時です。

ローカル線で“ディスカバージャパン”

去年、仕事でスイスからイタリアを走る鉄道に乗りました。初めて見る雄大で美しい山々の風景に感激しました。

ただ、僕はやっぱり自分が生まれ育ったなじみのある土地のほうが、なんだか旅はしっくりきます。のどかな田園風景や一面の菜の花畑、土地ごとで趣の異なる海岸線……、何気ないけれど情趣に富んだ日本の景観の魅力を、海外に行くと再確認します。そういう意味では、根っからの“ディスカバージャパン人間”なのかもしれませんね。

日本には本当にいい所がたくさんあります。それを味わえるのがローカル線です。そして、それは写真や映像ではなく、実際に乗って、見て、風や匂いを感じて初めて堪能できます。鉄道をただの交通手段と考えていたらもったいない。全国にはその地だけの名産品や芸術、文化をアピールする観光列車も数多く運行されているので、ローカル線の旅を楽しむきっかけとして乗ってみるのもいいかもしれません。

例えば、秋田と青森を結ぶ五能線を走る「リゾートしらかみ」。観光列車の先駆けで、日本海や白神山地、津軽海峡と車窓風景は見どころが尽きないし、車両も凝っています。「橅（ぶな）」「くまげら」「青池」と3種類の車両があって、それぞれ緑、オレンジ、青とイメージ

I N T E R V I E W

ローカル線で日本再発見。

◉俳優 **六角精児**

ろっかく・せいじ●1962（昭和37）年、兵庫県生まれ。1982年、劇団・善人会議（現、扉座）の旗揚げに参加。映画やテレビドラマ、舞台で俳優として活躍する一方で、鉄道ファンとして知られ、自身の冠番組、NHKBSプレミアム「六角精児の呑み鉄本線・日本旅」を持つほか、『六角精児「呑み鉄」の旅』（世界文化社）、『六角精児 鉄旅の流儀』（JTBパブリッシング）などの監修も行なう。主な出演作に、映画「鑑識・米沢守の事件簿」「超高速！参勤交代」シリーズ、「銀魂」シリーズ、『ザ・ファブル』、テレビ「半分、青い」など。現在、Eテレ「SWITCHインタビュー 達人達」のナレーションも務めている。アコースティックバンド「六角精児バンド」で音楽活動もしており、2014年に1stアルバム『石ころ人生』をリリース。

カラーでペインティングされ、三味線の演奏なども行なわれています。最近は食にこだわった観光列車も増えました。熊本県と鹿児島を結ぶ肥薩おれんじ鉄道の「おれんじ食堂」は、沿線の食材をふんだんに使った本格フレンチが人気のグルメ列車です。

また、東日本大震災で甚大な被害を受けた三陸の路線が今年全面復旧し、三陸鉄道リアス線として開通しました。第三セクターとしては国内最長距離となり、鉄道界の明るい兆しの一つになったのではないでしょうか。

僕が日本で車窓が一番美しいと思うのは、JR只見線です。窓の向こうに広がるのは日本の原風景。福島県の会津若松駅を出発するとすぐにのどかな田園風景が見え、会津川口駅あたりで里山になり、合間には昔ながらの家々。やがて只見川のダム湖が見えてきて、あとは終点の新潟県・小出駅までひたすら山の中を走ります。夏の深い緑、秋の紅葉、冬の雪景色。日本人にとってはどこか懐かしい四季折々の原風景で楽しませてくれます。

只見線は2011年の新潟・福島豪雨で橋梁が流され、現在も一部区間はバスによる代替運行です。もともと赤字路線でしたが、巨額の復旧費用をJRと福島県、沿線の市町村が分担して、2021年を目標に全線開通の復旧工事が昨年スタートしました。沿線にはキャンプ場などもあるので、豊かな大自然をご家族で楽しまれてはいかがでしょう。

日本一周、ローカル線の旅

観光列車には非常に高額なものもあります。鉄道ファンの中には「お金を貯めて、いつか乗ろう」と働く糧になっている人もいて、それも素敵なことだと思います。

僕が個人的にあったらいいなと思うのが、大人の修学旅行列車。50歳を過ぎた同級生たちが、夜行列車で2度目の修学旅行に行くプランです。昔の写真を持ち寄って思い出を語り合ったり、近況を報告したり。学生時代と同じルートを行きますが、数十年を経た景色の変化が楽しめるし、同じ名所も感じ方はきっと当時とは違うでしょう。もちろんお酒も飲めます。かつて机を並べた友が語る人生の経験談にほろりとしたり、大笑いしたり。なかなか素敵な過去の振り返り方だと思うんだけど、どうだろう？

それから、将来的に実現してほしいのが、日本を30日間ぐらいかけて巡る観光列車。九州から北海道までローカル線を乗り継ぎながら、全国の自然や人と触れ合う旅をしてみたい。スピードを追求するリニア開発もいいけれど、JR各社や民鉄が手を組んで日本をつないでいく。そんな旅ができたらいいなと、鉄道好きなディスカバージャパン人間としては思うのです。各地の個性あふれるローカル線が、ゆったりとした時の流れと素敵な思い出を乗せて走ってくれるんじゃないでしょうか。

六角精児さん出演のミュージカルが上演されます！

ミュージカル「怪人と探偵」

- **横浜公演**……KAAT 神奈川芸術劇場ホール
  2019年9月14日（土）～29日（日）
- **兵庫公演**……兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール
  2019年10月3日（木）～6日（日）
- **お問い合せ**……パルコステージ ☎03-3477-5858
  （月～土 11:00～19:00／日・祝 11:00～15:00）
  http://www.parco-play.com/

三陸をつなぐ、人をつなぐ。

【三陸鉄道リアス線】

今年の春、三陸をつなぐ1本のローカル線が全線開通した。
岩手県の盛（さかり）駅と久慈駅を結ぶ、三陸鉄道リアス線。
東日本大震災で不通になっていた一部区間が復旧し、
第三セクターとしては国内最長となる全163㎞を走行する。
自然の風景や海の幸、地元の人との触れ合い……。
リアス線に乗って、三陸の魅力を味わい尽くす。

2019年3月23日に復旧・開通した旧JR山田線区間のうち、大槌駅と吉里吉里駅の間で。トンネルを出てカーブを描く白い車体が、生い茂る樹木の緑によく映える。

誕生間もない三陸鉄道に

青と赤のライン入りの白い車体が、海と空と山々の風景によく映える。岩手県の海沿いを走る三陸鉄道、通称「さんてつ」のリアス線。青は三陸の海、赤は鉄道に対する情熱、白は誠実を表しているという。

全線開通は2019（平成31）年3月23日。東日本大震災で被災したJR山田線（釜石～宮古）を、復旧と同時に三陸鉄道に移管。もともと三陸鉄道が運行していた南リアス線（盛～釜石）と北リアス線（宮古～久慈）と1本につながり、全163kmの三陸鉄道リアス線が誕生したのだ。第三セクターとしては国内最長距離となり、盛～久慈間を約4時間半で結ぶ。そんな誕生間もないローカル線に乗って旅をした。

三陸鉄道のシンボルカラーである青と赤のラインが施された車両36-700形（左）。「36」とは「さんりく」をもじった数字で、すべての車両の型番につけられている。震災後の2013年にクウェートからの支援で導入された。右は三陸鉄道リアス線の南端・盛駅。

大船渡市にある始発駅の盛を出発すると、ワンマン運転のため車内アナウンスが流れる。トンネルをいくつか抜けると恋し浜駅に到着。小石浜で獲れるホタテのブランド名「恋し浜」がそのまま駅名になったそう。しばらく停車するので、ホームに出ることもできる。ホームの待合所にはたくさんのホタテ貝を絵馬のように吊るすホタテ貝の絵馬掛けがあり、幸せの鐘を鳴らす乗客も。ここは恋愛祈願の駅でもあるのだ。

吉浜駅を過ぎるとすぐ「右手に吉浜湾が見えます」のアナウンス。徐行してくれるので水平線まで続く海をゆっくり眺めることができる。“吉浜”を中国読みすると“キッピン”で、この辺りで獲れるキッピンアワビは高級食材として中国や台湾に輸出されているという。

出発から約50分で釜石に到着した。今年9月開催のラグビーワールドカップで盛り上がる釜石だが、釜石ラーメンも名物の一つ。極細ちぢれ麺のあっさり醤油味で、おいしい海産物をたらふく食べたシメにも合い、お勧めだ。

三陸の海の幸に舌鼓

釜石からは、JRから三陸鉄道に移管された旧山田線区間に入る。井上ひさしの小説の舞台として有名な大槌町の吉里吉里駅や、隣の浪板海岸駅は無人駅で、変化に富んだ海岸線がトンネルの合間に見える。一方、反対側の車窓には多くの仮設住宅も見られた。陸中山田駅から列車はやや内陸に入り、深い緑の森をひた走る。“まつたけの里”豊間根駅、“鮭の町”津軽石駅など各駅にはそれぞれ愛称があり、その由来を説明するアナウンスも興味深い。

屋根がひょうたん形の大槌駅の駅舎（上）。井上ひさし原作『ひょっこりひょうたん島』のモデルの一つとされる大槌町の蓬莱島がモチーフになっている。「釜石→宮古」間の切符は記念に持ち帰った（右）。

宮古駅で再び下車。駅員さんに切符を渡すと「持ち帰ってもいいですよ」とのことで、「三陸鉄道 釜石→宮古」と印字された切符は記念に持ち帰ることに。駅前には、リアス線開通に伴い開店したショップ「さんてつや」がある。新駅の駅名が入ったキーホルダーなどはやはり人気で、地元の人も記念に買いに来るという。

クウェートからの支援で2014年に製造された車両（上）。全線開通以前は南リアス線で使用されていた。ボックス席がゆったりと配され、カーテンや照明などレトロな重厚感が漂う（右）。

昼食は駅前のすし店「蛇の目本店」で

恋し浜駅のホーム待合所にあるホタテ貝の絵馬掛け（左）。恋愛祈願の駅として知られ、停車中にホームにある幸せの鐘を鳴らすこともできる。遠方には海が広がる（上）。

36-700形の車内。クロスシートとロングシートを組み合わせた座席の配置。木の床とオレンジ色のシートで温かみがあり快適だ。

宮古駅にある三陸鉄道のショップ「さんてつや」。特に人気は、リアス線全40駅名が書かれたマフラータオルや、新駅の駅名キーホルダー。リアス線開通記念ビールや「浜千鳥本醸造三鉄カップ」など地元の酒や種類豊富なおつまみは、旅のお供にお勧め。

吉浜駅を過ぎると間もなく見える吉浜湾の絶景。徐行運転してくれるので、水平線まで広がる海をゆっくり眺めることができる。吉浜湾ではアワビ漁が行なわれ、「キッピンアワビ」の名前で高級食材として輸出されている。

1937（昭和12）年創業の「蛇の目本店」の海鮮丼・北三陸ごはん（2,700円／税込）は、三陸の海の幸がたっぷりと味わえる。右上は上刺身定食（1,510円／税込）の刺身。岩手県宮古市栄町2-8／☎0193-62-1383

ラッピング車両が停車中の田老駅（上）。背後に森を控える無人駅だ。ラッピング車両は、三陸鉄道を支援する企業とコラボレーションしたもので、多数運行している。この後、田野畑駅を過ぎ、長い普代トンネルを抜けると、川にかかる赤い鉄橋が見える。周囲は田んぼが広がり、のどかな雰囲気（左）。

堀内駅と白井海岸駅の間にある大沢橋梁。リアス線のなかでも、この大沢橋梁から眺める海岸線や断崖は格別。列車はしばらく停車するので、絶景を堪能できる。

海鮮丼。ウニやイクラ、エビ、カニ……盛りつけられた素材をざっと数えただけで20種類。なかなかご飯にたどりつけないほどで、三陸ならではの海産物のボリュームと味に大満足だ。

約5200万年前に形成されたといわれる三陸を代表する景勝地・浄土ヶ浜。三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置し、夏は海水浴客でにぎわう。遊覧船からは、切り立った岩々を近くに眺められる。

駅からバスで20分ほどのところには名勝・浄土ヶ浜がある。白浜と林立する岩々の白い岩肌が海や空の青と見事なコントラストで、先人が“極楽浄土”と表現したのもうなずける。遊覧船も運航され、ウミネコの餌付けが観光客の人気を集めていた。

「北限の海女」のいる里へ

宮古駅からは団体客が乗車し、さっそく駅弁を広げている。宮古駅から先はトンネルが多いのでおしゃべりに夢中になりがちだが、アナウンスを聞かないと見どころを逃してしまう。田野畑（たのはた）駅手前では、列車と同じデザインが施された平井賀川の水門に「わー」「かわいい」と歓声が上がった。場所によっては、海がまったく見えないほど高い防波堤が設けられている。その光景に、自然は美しいだけでなく脅威にもなり得ることを改めて感じた。

田野畑駅手前の平井賀川の水門は、上部の機械室が三陸鉄道の車両を模したデザイン。震災後、横に高い防波堤が設けられた。

普代（ふだい）駅では、さらに90名もの団体客が乗車し、車内は一層にぎやかに。堀内（ほりない）駅を過ぎると、ポスターなどでもよく見る絶景撮影スポット・大沢橋梁を走行する。アーチ型の橋梁から眺める断崖はダイナミックで、乗客は身を乗り出すように下をのぞいたり、カメラにおさめたり。また、この辺りから終点の久慈にかけて、NHKの連続テレビ小説『あまちゃん』のロケ地が続く。ドラマのモデルになった「北限の海女」が活躍するのは久慈の小袖海岸だ。車内では「あの堤防から飛び込んだのよ」「漁協はどこ？」といった声が聞こえた。

ホームから海が見渡せる堀内駅。『あまちゃん』では袖が浜駅の名称で登場し、ファンも多く訪れる。待合所には「じぇじぇじぇノート」が。

ローカル線に乗る楽しみを

久慈駅で楽しみにしていたのが「三陸リアス亭」のうに弁当。午前中には売り切れてしまう予約必須の名物である。ふたを開けると、ご飯が見えないほどびっしりと敷き詰められたウニに、

大人気の久慈駅「三陸リアス亭」のうに弁当（1,470円）。蒸しウニとウニの煮汁で炊いたご飯の組み合わせが絶品で、まさに三陸の味。1984年の三陸鉄道開業時から駅弁を車内販売してきたお母さんの笑顔と楽しいおしゃべりにも心が和む。久慈市中央3-38-2／☎0194-52-7310

まず感激。ふんわりと蒸したウニを、ウニの煮汁で炊いたご飯がさらに引き立て、口の中に磯の香りが広がる。新鮮でしつこくなく、本当においしい。

「三陸リアス亭」のお母さんは、このうに弁当を三陸鉄道開業時から車内販売してきたそう。「風景以外にもローカル線に乗る楽しみがあったらいいなと思ってね」と販売のきっかけを話してくれた。観光客には「思い出をたくさん持ち帰ってもらいたい」という考えから、「さんてつ」の面白雑学も披露したと話す。例えば、真夏にトンネルの中にできる雲の話。外に比べ気温がだいぶ低いため、気温差で雲のような水蒸気の塊ができ、そこに列車が突っ込むとポンッと音がするのだとか。ぜひ真夏にまた乗って、トンネルの雲を見たいと思った。

久慈市内には、国内唯一という琥珀専門博物館や、三陸の豊かな海の生き物を展示した「もぐらんぴあ」など、三陸の地形や文化を楽しみながら学べるスポットも数多くある。

＊　　＊

リアス線の車窓の向こうには、かつて住宅地だった場所が更地になっている景色や、工事中の岸壁や壊れた建物などもあり、震災の爪痕が見てとれる。震災から今年で8年。リアス線沿線を含む宮城県石巻から青森県八戸にかけての太平洋沿岸は、2013年に三陸復興国立公園に認定された。各地でエコツアーやハイキング、自然体験などのプログラムが組まれ、環境省は沿岸を歩いて東北の魅力を再発見する「みちのく潮風トレイル」を推奨している。

そんな三陸復興国立公園を巡りながら、観光や地元グルメを楽しんだり、現地の人と触れ合ったり。自分なりのスタイルで復興に貢献するのもいいかもしれない。この春全線開通した三陸鉄道リアス線が、各地をしっかりとつないで走ってくれる。

1994年に国家石油備蓄基地の作業杭を利用して誕生した久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」のトンネル水槽。震災で甚大な被害を受けたが、さらに充実した設備や展示でリニューアルオープンした。久慈市侍浜町麦生1-43-7 ☎0194-75-3551

三陸沿岸はいたるところで復旧工事や防波堤の建設などが行なわれ、震災の爪痕を車窓の向こうに見て取ることができる。

大自然と秘境駅を満喫。

【JR飯田線】

駅で降りる人も、乗る人もいない。
周囲に民家も人の気配もない。
長野県の辰野駅と愛知県の豊橋駅を結ぶJR飯田線には、
そんな人里離れた小さな秘境駅がいくつもある。
何もないということは、たくさんの自然があるということ。
なかには車で到達できない駅もあり、
鉄道ファンでなくとも冒険心をくすぐられる。
都会の喧騒を離れ、豊かな自然と秘境駅を巡る旅に出た。

中央アルプスの山々を背景に、田園地帯を走るJR飯田線。その歴史は古く、もともとは豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道の4つの私鉄が辰野駅～豊橋駅間を結んでいた。

4つの路線を統合

長野県の辰野駅から愛知県の豊橋駅まで、天竜川に沿って走る飯田線。もともと4つの私鉄が運営していた路線を、1943（昭和18）年に国鉄（現在はJR東海）が統合した。最初の豊橋～豊川間が開通したのは1897（明治30）年なので、実に122年もの歴史を持つローカル線である。乗り換えなしで全線を約6時間かけて走る各駅停車も運行されている。その飯田線の名物が、南信州の山間に連なる秘境駅。春と秋には秘境7駅を回る観光列車「飯田線秘境号」も運行され、駅が人であふれ返るほどの人気という。

初夏の平日、東京からJR中央本線経由で辰野駅まで行き、そこから豊橋駅まで全195.7kmの旅に出た。乗車した飯田線は２両編成のボックス席で、乗客は1両に数人程度。先ほどまでの混雑した都心の列車が嘘のように快適だ。

辰野駅を出発するとすぐに田園風景が広がり、沢渡駅辺りから列車はぐんぐんと勾配を登っていく。左に南アルプス、右に中央アルプスの険しい山々が見えてくる。駒ケ岳登山の玄関口でもある駒ヶ根駅では、登山スタイルの乗客が数組下車していった。

さらに、伊那福岡駅辺りからは雪をかぶったアルプスが近くに見え、迫力満点。窓の下に目をやれば、深い緑の谷間を天竜川が勢いよく流れている。そんな美しい風景をゆっくり味わえるのがローカル線の魅力。次第に心が解放されていくのを感じる。

天竜川の舟下りと満天の星

飯田線は、ひっそりとたたずむ秘境駅や豊かな自然のほかに、地元グルメも楽しみの一つ。車窓からもそば畑が見えるが、信州そばはぜひ味わいたい郷土食。御幣餅も名物で、飯田市内でも地区や店舗によって形やタレの味が異なるので、食べ比べてみるものいい。

名物の信州そば。水がきれいで昼夜の寒暖差が大きい信州は、そばの味もいい。

南信州の中心地でもある飯田は、“塩の道”三州街道の宿場町としても栄え、江戸時代には木材を運ぶため、天竜川を通る筏でにぎわった。いまも天竜峡の川下りは観光客に人気だ。列車から見えた天竜川を舟で下り、船頭の話や唄声に耳を傾けながら眺めるのもお勧め。舟は飯田駅や天竜峡駅近くの港から出ていて、巨岩や奇岩が連なる渓谷を四季折々の絶景で楽しませてくれる。

この辺りは夜の空も素晴らしい。長野県阿智村浪合は2006（平成18）年に環境省の全国星空継続観測で最高点をとった地区。標高1,200mに位置し、村を囲む山々が町の灯りをさえぎり、澄んだ森の空気が星々を輝かせるのだそう。訪れた日は雲の合間の星空観察だったが、“日本一の星空”をうたう場所だけあって、星座が見分けられないほどの星が輝いていた。晴れていれば天の川も見えるという。

“日本一の星空”をうたう長野県阿智村浪合で眺めた夜空。降ってきそうなほどの星が輝いていた。

天竜峡駅を過ぎると、いよいよ秘境駅が連なるエリアに入る。それまでは田んぼや果樹園や集落も見えたが、隣の千代駅は山の中にあり、ホームに待合所がぽつんとあるだけの無人駅。ほ

初夏でも頂上付近に雪が残る中央アルプス。手前は白い花を咲かせるそば畑。車窓から一面のそば畑を眺めたら、下車して名物の信州そばを味わってみてはいかがだろう。

田切駅と伊那福岡駅の間を流れる中田切川の鉄橋を渡る列車。

天竜峡駅付近の天竜峡（左）。天竜峡の渓谷美を堪能できる川下りは、天龍峡温泉港から唐笠港までの「天竜ライン下り」と、弁天港から時又港までの「天竜舟下り」がある。天竜峡駅付近で南信州名物の御幣餅を購入。焼きたてで香ばしく、タレはクルミや胡麻、山椒などがある。

千代駅付近で天竜川を横切る飯田線。鳥の声しか聞こえない深い森に、列車の音が響く。奥には吊り橋の天竜峡つつじ橋が見える。

列車は唐笠駅に停車中。駅のすぐ近くに「天竜ライン下り」の船着場・唐笠港があり、タイミングが合えば、港まで下ってくる舟をトンネルの合間に眺めることができる。唐笠駅周辺は清掃も行き届いている。

温田駅を過ぎ、ダム湖にかかる鉄橋を渡ると為栗駅。川に映った列車が水面を走っていく。

為栗駅を出発した列車を吊り橋から撮影。ダム湖に架かるこの吊り橋が駅に行く唯一の道で、徒歩でしか渡れない。周囲に人家もない。

秘境駅の中でも特に人気が高い小和田駅。古い木造の駅舎が味わい深い。駅舎内には「想い出日記」のノートが何十冊もあり、有人駅だった1979(昭和54)年の書き込みもある。

かに乗降客もいない。去っていく列車の音と鳥たちの鳴き声が、いっそう寂しさを誘う。そんなホームに立って、まずは大きく深呼吸。澄んだ空気と心地いい風が全身を駆け抜けていく。

千代駅の近くを散策していると、畑仕事を終えて家に帰る途中という年配の男性に声をかけられた。「ぜひ秋にまた来て」とのこと。8年前に有志で駅周辺に200本の四季桜の苗を植え、春と秋は満開の桜並木が眺められるそう。飯田線が天竜川を横切る絶景撮影ポイントも教えていただいた。誰もいない秘境駅で、地元の人との思いがけない触れ合い。なかなか素敵である。

隣の金野(きんの)駅も無人駅だ。ホーム沿いの石垣は苔むし、出口には切符回収ボックス。聞こえてくる川音は天竜川支流の米川で、木々の間から見下ろすことができる。

千代駅で。ホームの待合所には「想い出ノート」があり、駅を訪れた人が言葉を残している。

千代駅の隣の金野駅は小高い丘の上にある。周辺は木々で囲まれ鬱蒼としており、崖下を流れる米川の音と鳥の鳴き声が聞こえる。

車では行けない秘境駅

飯田線には94の駅があり、駅と駅の間が短いのが特徴だ。山間部は次の駅まで2〜3分だったりするが、それはトンネルがあればこそ。門島(かどしま)駅から次の田本(たもと)駅までは、短いトンネルを10個以上くぐってようやく到着する。

田本駅から2つ先の為栗(してぐり)駅は、戦後のダム開発で集落が水没して秘境駅となった。駅前には巨大なダム湖が広がり、架かっている吊り橋は徒歩でのみ通行が可能。橋から見えるのは、時が止まったように静かな森と湖。そして、その静寂を打ち破るようにガタンガタンと鉄橋を渡る列車が姿を現す。列車は為栗駅へと入り、やがて湖沿いを少し走ったあと、再び山の中へと消えていく。その様子がすべて湖面に逆さに映し出され、まるで列車のショーを独占鑑賞している気分だ。

中井侍(なかいさむらい)駅も断崖にあり、駅周辺やホームの崖を覆い尽くしている苔が青々として実に見事である。

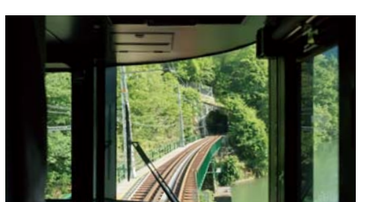
そして、秘境駅のなかでも特に人気なのが、小和田(こわだ)駅。長野、愛知、静岡の3県の境界駅でもあり、古い木造の駅舎がなんとも風情がある。皇后雅子様のご成婚時に、旧姓小和田にあやかって縁結びの駅としても話題になった。駅の外に出ると、苔むした石垣沿いに整備された散策路がある。集落まで通じているようなので、時間に余裕があれば散策してはいかがだろう。

＊　　＊

山間の秘境駅エリアは水窪駅辺りまでで、長い大原トンネルを抜けると車窓の風景が一変する。民家が見え、乗降客も徐々に増し、列車の速度も上がる。湯谷温泉の歴史を案内する車内アナウンスが流れると、宇連川沿いに旅館が建つのどかな温泉街。さらに行くと、田園地帯や家々、ビルなど人の営みが感じられる風景に変わり、終点の豊橋駅に到着した。

飯田線は、駅のホームやトイレの清掃がどこも行き届いていて、気持ちよく使えたことも印象的。旅行者にはうれしい心遣いだ。

そんな飯田線沿線を、直通の各駅停車に乗って、お弁当を食べながらひたすら車窓風景を楽しむも良し。途中下車して冒険気分で散策し、郷土の味に舌鼓を打つも良し。気ままに過ごして心身共にリフレッシュできるのが、ローカル線の大きな魅力である。



ワイドビュー伊那路の前方の窓から見た為栗駅手前のトンネル。秘境駅エリアはトンネルが非常に多い。

中井侍駅を走る特急のワイドビュー伊那路。飯田〜豊橋間(約2時間半)を1日2往復している。

宍道湖と出雲の田園を、のんびりと。【一畑電車】

松江と出雲を結び、宍道湖沿いを走る一畑電車。
地元では「ばたでん」の愛称で親しまれ、市民の足として活躍している。
さまざまな個性あふれる車両があり、周遊券やセット券など切符の種類も豊富。
電鉄出雲市駅を起点に、松江しんじ湖温泉駅まで行く北松江線と、
途中の川跡(かわと)駅から出雲大社前駅に行く大社線があり、
山陰観光や出雲大社へのアクセスが一段と楽しくなるローカル線だ。

宍道湖と田園風景を背景に、園駅と湖遊館新駅駅の間を走る、一畑電車の「ご縁電車 しまねっこ号」。ピンクの車体に観光キャラクター「しまねっこ」と、島根にまつわる8つのモチーフ「しめ縄、銅剣、銅鐸、水引、雲、勾玉、ウサギ、ハート」が描かれている。

流れる景色を眺めながら味わう駅弁は格別。島根県産コシヒカリの酢飯に境港で水揚げされたベニズワイガニを敷き詰めた「蟹としじみのもぐり寿し」1,250円(左)と、大山どりなど地元食材を厳選使用した「出雲招福ちらし」1,200円(右)。松江の老舗「一文字家」のこだわりが詰まった駅弁だ。

※「一文字家」の駅弁はJR松江駅にて販売。

一畑口駅でスイッチバックする「しまねの木号」(左)。駅ホームのひなびた雰囲気が味わい深い(右上)。周辺はのどかで、小学生たちと鳥の声が響いていた(右下)。

たくさんの趣ある車両

「一畑電車に在籍する車両は、一部を除き、かつて関東の過密なダイヤの中を第一線で走っていた名車達です。今は田園風景の中を、のんびりポタポタと走り、地域の足として頑張っています」。

一畑電車の公式ホームページにある説明だ。第2の人生を歩み始めた列車たちを温かく見守っているようで微笑ましい。新造車両もあるが、多くは京王線や東京メトロ日比谷線、東急東横線など首都圏を走っていた車両を譲り受け、改造したりラッピングしたりして運行している。地元の人から「ばたでん」と親しまれている列車たち、ここではどんな風景を旅人に見せて走ってくれるのか。始発駅の松江しんじ湖温泉駅へ向かった。

駅前にあったのは「お湯かけ地蔵足湯」。“のんびりポタポタ”な旅の始まりにぴったりだ。松江しんじ湖温泉のお湯でリラックスしたあとホームへ行くと、入ってきた列車は2両編成の「しまねの木号」。内装はすべて県内産の木材を使用し、4人用と2人用のボックス席には大きなテーブルとパーテーショ

松江しんじ湖温泉駅には足湯があり、旅の前後にくつろげる(上)。「縁結びパーフェクトチケット」(右)は山陰・出雲路をめぐる電車とバスが3日間乗り放題で、施設の割引や特典付き。

島根県産のスギやナラ、ヒノキなどを使用した「しまねの木号」の車内。4人用と2人用のボックス席はパーテーション付きで、グループや家族旅行にぴったり。車体は京王電鉄から譲り受けたものだが、一畑電車の線路とは幅が異なるため、台車(車輪部分)は東京メトロのものに付け替え走行している。

ンも付いている。まるで観光列車のコンパートメントのようだが、自由席で料金も普通。座席のない広いスペースもあり、自転車も持ち込める。

車両はほかにも、ピンクを基調とし、車内にご当地キャラクターの「しまねっこ」が置いてある「ご縁電車 しまねっこ号」や、ソファー型シートを窓側に向けて配置した「楯縫(たてぬい)号」などさまざま。列車に乗ること自体がアトラクションのようにワクワクする。

出雲大社前駅で。オレンジの車両は「デハニ50形」(上)。日本最古級の車両で、週末には体験運転(予約制)も。新造車両7000系にも「しまねっこ」が飾られていた(右)。

松江しんじ湖温泉駅から3つ目の長江駅から、一畑口駅の1つ手前の伊野灘駅までは、南側に遮るものが何もなく、宍道湖の見晴らしが特に良い。上の車両は一畑電車にとって86年ぶりの新造車両という7000系で、津ノ森駅付近で撮影。

のんびりと山陰を味わう

出発するとすぐ左手に宍道湖が見え、右手はのどかな田園風景が続く。4人用ボックス席でさっそく駅弁を広げる。境港で水揚げされたベニズワイガニや出雲に関係の深い材料、だしや調味料に至るまで山陰の幸づくし。これぞローカル線の旅の醍醐味。列車に揺られながらのんびりと味わう駅弁は何よりのご馳走だ。通路を挟んだ向かいの2人用ボックス席には、一人旅風の外国人女性。山陰の風景を眺めながら、旅の記録だろうかメモを取っている。

一畑口(いちばたぐち)駅では名物のスイッチバック。

高浜駅のそばにある粟津稲生神社の参道を横切る「楯縫号」。この朱色の鳥居をくぐって線路を渡ると神社がある。出雲の山々を背景に、水田に列車が映り、のどかな雰囲気。

登山列車などではおなじみだが、平地で存在するのは珍しい。戦前までこのスイッチバックより先、一畑駅まで線路が続いていた名残である。駅はレトロな木造で、ホウロウ看板付きの長椅子も置かれ、昭和の雰囲気を漂わせていた。

隣の園(その)駅を過ぎた辺りから宍道湖を離れ、両側に田園風景が広がる。田園の中をひた走る列車を眺めたくなり、次の湖遊館新駅駅で降りて散策していると、「5000系じゃない？」「新型だよ！」と元気な声。踏切待ちをしている幼稚園児たちが、入ってくる車両の当てっこをしているらしい。やがて、白にオレンジラインの新型車両が姿を現すと「当たりー！」と盛り上がっていた。「ばたでん」は地元の子どもたちからもしっかり愛されている。

地元に愛され、観光客に優しい

出雲大社に行くためには、川跡(かわと)駅で北松江線から大社線に乗り換える。大社線に入ると近くに山が見え、粟津稲生(あわづいなり)神社の朱色の鳥居が並ぶ高浜駅を過ぎると、終点の出雲大社前駅まではもうすぐだ。松江しんじ湖温泉駅から約1時間の列車旅だ。

出雲大社前駅の駅舎内には、戦前戦後の市民の暮らしを支え続けてきた一畑電車のオリジナル車両「デハニ50形」が展示されている。現役引退後、2010（平成22）年公開の映画『RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語』でも使用されたオレンジ色の車両である。映画ファンらしきカップルの観光客が車内をくまなく見学し、感激していた。

駅舎を出ると、目の前が出雲大社の神門通り。門前町をぶらぶらと歩きながら、名物の三段重ねの出雲そばで腹ごしらえ。そばの香りがとても豊かで、少し甘めのつゆもおいしい。そして、旅でのさまざまな出会いに感謝し、縁結びの神様・出雲大社を参拝した。

もう一つ、この近くでぜひ訪れたいのが、国の重要文化財に指定されているJRの旧大社駅。明治、大正、昭和、平成と利用された駅舎で、純日本風の木造平屋建て。出札室（切符売り場）や等級別の待合室、ホームなどがそのまま残され、大正ロマン漂う建築美の中、時を超えて旅しているような気分に浸ることができる。

一畑電車沿線には、ほかにも松江城や一畑薬師など名所や見どころが多い。一日乗車券や3日間乗り放題などお得な切符や、観光スポットとのセット券もあるので、目的や日程に合わせて利用してはいかがだろう。

＊　　＊

夕方、宍道湖に沈む夕日を眺めていたら、犬を散歩中の男性が「11月頃はもっときれいなんだよ」と教えてくれた。夕食で立ち寄った料理店のご主人は、生まれ育ったという奥出雲の見どころやおいしいものをたくさん紹介してくれた。一畑電車の駅員さんも、1枚の風景写真を見せて場所を尋ねたら、駅からの行き方まで笑顔で丁寧に説明してくれた。

一畑電車の旅で感じたのは、地元の方が旅行者に対してとても親切なこと。皆さんそれだけ地元を愛していて、良い印象を持って帰ってもらいたいと思っているのだろう。生活路線「ばたでん」は、地元に愛され、観光客に優しいローカル線だ。

湖遊館新駅駅に入ってくる新型車両7000系。稲の濃い緑に、白とオレンジの車体が映える。この辺りは田園風景が広がり、ほのぼのとした光景が楽しめる。

出雲大社前の駅舎。1930（昭和5）年建造で、国の登録文化財。ステンドグラスがあしらわれたドーム型の高い天井に異国ムードが漂う。ショップでは一畑電車オリジナルグッズも販売している。

山陰の名所の代表で、縁結びの神様として知られる「だいこくさま」を祀った出雲大社の拝殿（上）。神楽殿（下）の正面にある大注連縄は長さ約13m、重さ5.2tで、数年に一度新しいものに掛け替えられる。

JRの旧大社駅は国の重要文化財。純日本風で大正ロマン漂う建築美は一見の価値あり。屋根瓦の装飾から、駅舎内の高い天井から下がる和風シャンデリア、家具、展示物に至るまで見応えがある。一畑電車・出雲大社前駅から徒歩13分ほど。

一日の終わり、水の都・松江を象徴する宍道湖に沈む夕日を背景に、乗客を運んで走る「ご縁電車　しまねっこ号」。刻々と表情を変える宍道湖の美しい景色に、時の経つのを忘れてしまうほど。松江しんじ湖温泉駅からほど近い南平台にて。

出雲大社の門前町で名物・出雲そばを賞味。3段の割子そばで、薬味をのせ、つゆをかけていただく。そばの風味がとても豊かで素朴な味わい。

山陰で日本の原風景に出会う。

【JR木次線、JR境線】

JR木次線の出雲八代駅～出雲三成駅間を走る「奥出雲おろち号」。窓ガラスがないトロッコ車両が先頭になっているが、このあと出雲坂根駅でスイッチバックをして、ディーゼル機関車部分が前になる。

木次駅で見送ってくれた幼稚園児たち（上）。出雲八代駅では園児からの歌のプレゼントもあった。木次線はトンネルが多く、風が吹き込む（中）。天井に輝くおろち（下）。

山深い奥出雲をくねくねと走る「おろち号」は、まさに神話に出てくる生き物。おろちループ展望台そばの新三国橋から撮影。

間近で見る「おろち号」は迫力満点だ。備後落合駅から油木駅へと向かう小路から（上）。八川駅付近の水田地帯を走る（下左）。亀嵩駅と出雲三成駅の間の橋では、すぐ下を通る（下右）。

トロッコ列車で風を浴びながら

山陰地方には個性豊かなローカル線が走っている。山の風景が楽しめるのが、島根県の宍道駅と広島県の備後落合駅を結ぶJR木次線。なかでもお勧めは、途中駅の木次駅発で、週末に（夏休みなどオンシーズンは毎日）1日1往復するトロッコ列車「奥出雲おろち号」。自然と一体になれる観光列車だ。窓ガラスがないので、風を浴び、森の澄んだ空気をいっぱいに吸いながら旅ができる。木々が車体をこすって葉っぱが車内に舞い込むこともあり、自然の中を駆け抜けている気分になる。

出発から約30分で木次線で一番長いトンネル、下久野トンネルに入る。入口と出口の標高差が55mあり、急勾配をひたすら登る。山間のトンネル内は夏でも寒く、上着が必要なほど。通過中は列車の天井にオロチのイルミネーションが輝く仕掛けもある。亀嵩は松本清張の小説『砂の器』に登場する駅で、駅舎がそばの店舗も兼ね、打ちたてのそばをホームで販売。ほかの駅でも特産品を販売しているので、車内で弁当からスイーツまで地元グルメが楽しめる。

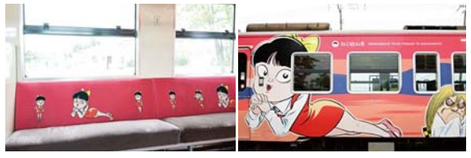
出雲坂根駅には全国でも珍しい3段式スイッチバックがあり、列車はゆっくりジグザグと登っていく。JR西日本で標高が一番高い三井野原駅手前で見えてくるのが三井野大橋。谷底からの高さが100mあり、森の緑の中にくっきりと赤いアーチ橋が浮かんでいる。「その横でとぐろを巻いているのが、奥出雲おろちループです」のアナウンス。「おろち号」もそうだが、ヤマタノオロチ伝説の舞台である奥出雲には、伝説にちなんだ観光スポットが多い。

それにしても森や田んぼの緑色が濃く、グラデーション豊か。小川も澄んでいて、自然が本当に生き生きとしている。そんな木次線の旅での一番の感動は、地元の人との触れ合い。沿線住人が列車に向かって必ず手を振ってくれるのだ。列車が近づくと畑仕事の手を休めたり、庭先の椅子に腰かけていた老人が「待っていたよ」と言わんばかりに笑顔で手を上げてくれたり。こちらも大きく手を振り返す。ただ手を振り合うことが、これほど心癒されるとは。旅という非日常のなかで出会う日本の原風景や人とのつながり。普段見落としがちな大切なものを気付かせてくれるのも、ローカル線の旅の良さである。

三井野原駅を過ぎ、広島県に入ると、列車は西城川沿いを走る。油木駅と備後落合駅の間を行く車両が川面に映る。

亀嵩駅は駅長室がそば店舗という珍しい駅で、ホームで販売もする。山芋と温泉卵入りの亀嵩そば弁当（750円）。

トロッコ車両から眺める赤い三井野原大橋（上）。橋の右横に、国道314号線がとぐろを巻いたような奥出雲おろちループがある。木次線は駅自体も見どころ。出雲横田駅（左）はしめ縄が張られ神社のよう。出雲坂根駅には湧水「延命水」があり、停車中に汲むこともできる。



境線の始発駅・境港駅には「ゲゲゲの鬼太郎」にまつわるオブジェがある（左）。上はねずみ男列車、下はねこ娘列車で、外装・内装ともにキャラクターが描かれている（上）。ほかに鬼太郎列車、目玉おやじ列車、砂かけばばあ列車、こなきじじい列車もあり、全6種類。

怪しくも楽しい妖怪ワールド

海側には、境港駅と米子駅を結ぶJR境線。世にも珍しい妖怪と一緒に旅ができるローカル線だ。鳥取県境港市は漫画家・水木しげるの出身地で、鬼太郎列車や目玉おやじ列車など『ゲゲゲの鬼太郎』のキャラクターのラッピング車両が6種類運行されている。どの列車が駅に入ってくるかはお楽しみだ。

乗車したのは、ねずみ男列車とねこ娘列車の連結車両。外装だけでなく、車内のシートや壁、天井までキャラクターが描かれ、妖怪ワールド一色。どこに連れていかれるのかと不安になるが、車窓に広がるのは林や畑、住宅街……。沿線住人の暮らしを感じる生活路線でもある。日本の妖怪文化に興味を持つ外国人観光客も多いようで、SNS映えしそうな車内やホームのあちこちで熱心に写真を撮っていた。一部の車両では、車内アナウンスもアニメの声優が務めているようだ。

全16駅に妖怪の愛称駅名が記された妖怪駅名板も設置。上道駅は「一反木綿駅」、米子空港駅は「べとべとさん駅」、弓ケ浜駅は「あずきあらい駅」。水木しげるによる絵や解説もあって楽しめる。ちなみに米子駅の境線ホームは「霊番」乗り場だ。沿線には水木しげる記念館や水木しげるロードなどもあり、まさに妖怪尽くし。日がな一日、別世界に浸ることができる。

鳥取県の弓ケ浜半島を走る境線は、多くが無人駅。上は上道駅。「鬼太郎」ラッピングのないシンプルなディーゼル普通車両も走っている。

高瀬塗料株式会社

**お客様に材料をお届けするだけではなく、
お客様同士をつなぐ存在でもありたいですね。
地域に寄り添い、お客様の利益を生み出す
パートナーになれれば、とてもうれしく思います。**

代表取締役　**富澤浩史**

「瑞穂ビューパーク」の「スカイホール」からの眺め。「関東の富士見百景」に選ばれている。

狭山丘陵にある「六道山公園」。四季折々の風景が楽しめ、標高192mの地にある展望台からは富士山、秩父連山、都心の高層ビル群まで見渡せる。ハイキングなどを楽しむ人々の憩いの場となっている。

約1.5haの親水公園「狭山池公園」。自然観察池、庭園風観賞池、釣り池と3つの池があり、野鳥も観察できる。公園内にある「狭山池」は残堀川の源流となっており、「蛇喰次右衛門の伝説」が残されている。

都心から北西へ約40㎞。東京都多摩地域にある瑞穂町。東部は狭山丘陵、北は東京狭山茶の茶畑が広がる、自然に囲まれた緑豊かな町です。とくに、茶の生産量は都内随一で、東京のお茶処として知られています。また、国道16号や新青梅街道などの主要道路が行き交う陸路の要衝ともなっています。

＊　　＊

その瑞穂町に本社のある高瀬塗料株式会社をお訪ねし、代表取締役の富澤浩史さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1958（昭和33）年7月1日です。前社長で現在は会長を務める高瀬隆の父親が創業しました。私で3代目になります。昨年、創業60周年を迎えました。

■ご入社はいつでしょうか？

●12年前です。私が32歳のときですね。塗料メーカーの販売会社で10年間働いたあとに入社しました。

■きっかけをお聞かせください。

●その販売会社で同期だった、会長の娘と社内結婚をして、周りを固められました（笑）。入社したときは課長職で、その後常務になりましたが、会長が65歳の誕生日に社長を代わると決めていたので、2年前の2017（平成29）年10月27日に私が就任しました。

■主な業務内容をお聞かせください。

●8割が建築用塗料、2割が自動車補修塗料です。前の会社では自動車補修塗料を担当していたので、建築の分野を覚えたのは入社してからです。自動車補修塗料は私が入社したころは3割くらいでしたが、建築用塗料の扱いが増えたという形ですね。

■力を入れている分野をお聞かせください。

●塗り床材と防水材です。この地域は横田基地が近く、建物の高さ規制があり、高層ビルやマンションはないのですが、小さい工場が多いので、床や防水に注力して、建築分野全体を増やしていきたいですね。

横のつながりを大切にして、地元に密着した営業を

■経営方針をお聞かせください。

●お客様が喜ぶのはお客様の利益が増えることだと思いますので、お客様の近くでそれをお手伝いするというのが基本的な考え方です。材料を売るだけの“ご用聞き”“材料屋”ではなく、お客様と良好なパートナーシップを築いていきたいですね。

町の南部を占める在日米軍横田基地（左）。周辺には在日米軍軍人のために1950年代に建てられた「米軍ハウス」が残り（右）、基地に面する国道には米国風の店舗が並び、米国の空気を感じられる。

本社事務所。

■地域密着ということでしょうか？

●当社の営業エリアは半径20～30㎞圏内で、東京では都区部以外の西部、神奈川は相模原、埼玉は所沢、川越までです。行動範囲を広げず、地域密着でお客様との関係を強化していくという形で営業しています。

■具体的に取り組まれていることはあるでしょうか？

●地元のいろいろな青年会に参加し、その人脈を財産にしてお客様につなげるということですね。たとえば、材料だけではなく業者さんを紹介して仕事の斡旋をしています。頼りにされることもあり、経営のアドバイスなどもしています。

■塗料業界の青年会の活動にも力を入れているとうかがっていますが……。

●5月に日本塗料商業会の青年部の会長に選出されました。総会と研修会のほかに、同業会員を訪問して店舗を学ぶという「店舗研究会」を充実させていきたいですね。考え方を聞けるので参考になりますし、刺激にもなります。また、日本塗装機械工業会と一緒に業界同士で何か始めようという気運もあり、若い方々と新しいことにどんどん取り組んでいきたいと思います。

■お客様も若い方が多いのでしょうか？

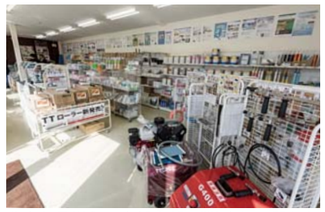
●下請けの塗装業者がほとんどで、独立する若い方が多いのがこの地域の特徴でもあります。細かく営業しながら、少しでもいい施工をしたいと考える業者さんも増えていますね。機能性塗料に注目する方もいて、新しいニーズが生まれるかもしれません。

“材料店”ではなく、“総合商社”“万屋”として

■これからの塗料に求められていることは何だとお考えでしょうか？

●販売業だけでなく、塗装や塗料自体の一般の方の認知度が低いので、まずはそれを上げることが必要だと思います。海外では塗装業者さんは「ペインター」と呼ばれて親しまれていると感じます。業界を伸ばすためには、塗料はいろいろなところで使われ、高機能塗料などの種類も豊富なことを知っていただきながら、業界の地位を上げることが求められると思います。

■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？



豊富な品揃えの店舗内部。「独立して間もなく倉庫もないお客様に、塗装機材のレンタルをしています。洗浄機は3台保有していますが、借り手が絶えません。若い世代にどんどん活躍していただきたいですね」（富澤社長）。

●特約店契約をして「ハイプルーフ会」に入会したのが1988年のようです。それ以前から工場関係の床や防水などの市場はあり、その分野が得意なメーカーさんということで取引していたようですので、30年以上になりますね。

■ニットク・アメニティシステム会の理事を務められていますが……。

●メーカーさんだけでなく、施工店にもブランディングが必要だと思います。ニットク・アメニティシステム会も、特別な技術をもった“プロ集団”のような位置づけにすると他業者と差別化をはかれます。それをエンドユーザーに訴求できればいいと思います。

■これからの会社のイメージをお聞かせください。

●“材料店”で終わらず、お客様から信頼され、相談を受けるような“総合商社”“万屋”になりたいですね。材料を売るという感覚ではなく、お客様の売上を増やすという目線で接することのできるような会社になるのが理想です。社員全員が経営者のような考え方をもつのが理想ですね。

■趣味をお聞かせください。

●とくにないんですよ（笑）。休日は洗濯や掃除などの家事をしています。料理は嫌いではないのでよくしています。ネットで調べて何をつくるか考え、一人で買い物に行きます。今夜も妻と娘たちの夕食をつくりますよ。

■本日はどうもありがとうございました。

本社社屋（奥）。手前左が倉庫、右が店舗。塗板などを展示するショールームもある。

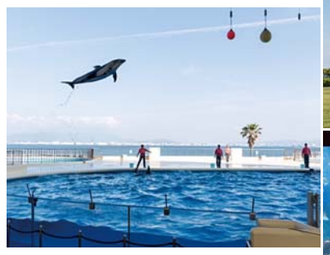
P R O F I L E

■高瀬塗料株式会社
（東京日特会会長／関東甲信越ニットク・アメニティシステム会会員）
●**創業**／1958（昭和33）年7月1日
●**資本金**／2,995万円
●**代表者**／代表取締役　富澤浩史
●**所在地**／〒190-1222
東京都西多摩郡瑞穂町
箱根ヶ崎東松原27-21
電話（042）556-3955
FAX（042）556-3953
HP：https://www.takase-t.co.jp/
●**営業品目**／塗料販売（建築用・自動車用・木部用・防水用・床用塗料）、塗装用品販売（塗装用資材・塗装用機器・塗装用設備）、塗装工事（外装・内装・屋根・防水塗装工事、その他リフォーム工事）
●**従業員数**／14名

川口吹付工業株式会社

**少子高齢化、工事の分業化が進むなか、
これからは“多能工”が求められると思います。
そのために技術の鍛錬、知識の蓄積、
資格の取得に力を入れながら、
技術を継承するための努力をしていきたいですね。**

代表取締役　**川口大介**



貝殻をモチーフにした外観が美しい水族館「マリンワールド海の中道」。博多湾を背景としたアシカやイルカのショーや、「九州の海」をテーマとした展示が楽しめる。

関ヶ原の戦いで戦功を挙げた黒田長政（くろだながまさ）が築いた「福岡城」。城跡には移築・復元された櫓や城門が点在し（左上）、国の重要文化財に指定されている「南二の丸多聞櫓」（左下）もある。外濠は「大濠公園（おおほり）」として整備され（右）、市民の憩いの場として親しまれている。

九州地方の経済・交通の中心地、福岡県の県庁所在地、福岡市。博多湾に面する福岡市は、古くから大陸への玄関口として栄えてきました。とくに1899（明治32）年の博多港開港以降は繁栄が進み、現在も九州最大の人口を有する都市として発展を続けています。

＊　　＊

その福岡市に本社のある川口吹付工業株式会社をお訪ねし、代表取締役の川口大介さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1951（昭和26）年に私の祖父が個人事業として始めました。吹付工事店としては九州でも古いほうですね。法人化したのは1971年です。祖父が初代社長で、その長男で私の父親が2代目、私が3代目になります。

■当初から吹付工事が中心だったのでしょうか？

●吹付工事がメインでしたが、いまは塗装もしています。当初はひとつの会社に職人も雇っていましたが、父親の代で会社を分け、工事は当社で請けて、親戚が経営する別の施工店に外注するという形で営業しています。

■現在の業容をお聞かせください。

●新築の吹付工事が3～4割です。改修工事と営繕が6～7割を占めます。昔は新築のほうが多かったようですが、父の代に改修が増え、多いときは8割が改修工事でした。ただ、福岡市は人口が増え続け、ここ3年ほどはマンションやホテルの新築が増えています。

■営業範囲をお聞かせください。

●いまのお客様は地場のゼネコンさんがほとんどで、市内の工事が中心です。ただ、祖父は石目調に仕上げるスプレーガン「3頭ガン」を開発したほどで、ほかにはない技術をもっていたため、九州各地から呼ばれて行ったようです。

3代続く技術と経験で子供たちに自慢できる物件を

■ご入社はいつでしょうか？

●学校を卒業して地元で2年ほど仕事をしたあと、修業のためにメーカーに3年間勤め、28歳のときに戻って入社しました。入社2年後の2004（平成16）年9月に父親が病気で亡くなり、10月に社長を引き継ぎました。30歳とまだ若年で大変でした。

■社長になって変えたことはあるでしょうか？

●技術的なことではなく、日報の提出

本社事務所。「当社の社員は4人、別会社の施工店には職人が7人います。私を小さいころから知っている古参の社員が多く、社長就任直後はずいぶん助けられました」（川口社長）。

や、施工現場の撮影などを課しました。いちばん大きく変えたのは、1カ月に1回の会議の開催です。当時の職人は自宅から現場への直行直帰で、会社に集まる機会がなく、皆が顔を合わせるのは忘年会だけでした（笑）。会議を開くことで現場報告や、職人同士の技術的なアドバイス、材料の話を聞けるようになりました。こうして徐々に新しい会社の体制をつくり、形にしてきました。

■経営方針をお聞かせください。

●親、子、孫と3代続く技術で丁寧な仕事をすることです。とくに吹付仕上に関しては自信をもっています。当社の人間には「この建物を塗った」と子供たちに言えるような、自慢できるものをつくっていこうと言っています。そのためには技術と経験が必要になりますし、その技術を継承していきたいと思います。

人材の確保が最優先

■技術の継承に必要なものは何だとお考えでしょうか？

●福岡市では、技術向上のために職業訓練的な勉強会を開催するなどの動きがあります。ただ、仕事があるのに人手が足りないという現状のままでは余裕がなくなって何もできません。少子高齢化も進み、この先はおそらく外国人の力が必要になると思います。すでに雇っている業者は多くありますし、外国人を積極的に受け入れるためのさまざまな動きも数年前からあります。やはり技術を受け継ぐ人材の確保が第一ですね。

■これからの会社のイメージをお聞かせください。

●これから工事は分業化・細分化が進むと思いますが、ひとつの技能だけではなく、吹付もできて刷毛もコテも使え、シートも貼れるような「多能工」を育てたいと思います。社内だけでなく協力業者さんにもそれだけの知識と技能、そして資格も取得させたいですね。

■技術の伝承につながるということでしょうか？

●多様な技術があれば信頼も得られます。業界のさまざまな団体に参加して、横のつながりもあるため、技術の幅が広ければ、新しいお客様から声をかけていただけます。2016年の熊本地震の際も、九州内で助け合いました。協力し合う仕事が多くなりましたが、そのつながりは信頼関係から生まれていると思います。

■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●父の代ではすでにお付き合いしていましたが、初めは祖父かもしれません。壁面防水化粧材「ハイプルーフ」の記録がありました。屋根用塗料「スレコート」は40年以上前から定番で使っていたようです。いまは主に防水材「プルーフロン」でお世話になっています。

■九州ニットク・アメニティシステム会では技術委員長をお務めですが……。

●委員会では何か突拍子もないことを考えようと話しています。いままで塗っていないものに塗料を生かそうという新しい発想ですね。今日明日では不可能なことも、20年後にはできるかもしれません。

■趣味をお聞かせください。

●以前はサーフィンによく出かけていました。いまは小6の次男が少年野球のチームに入っているので、土日は応援や試合の手伝いです。現在中2の兄が小3のときから続けているので長いですね。次男のチームは先日、県大会で優勝して、今夏、全国大会に出場します。それが終わったら海に戻りたいですね。海は大好きで、メーカーをやめたあと1年ほど奄美にいて、毎日波に乗っていたほどです。

■本日はどうもありがとうございました。

博多湾の入口にあり、本土と陸続きの小さな島「志賀島（しかのしま）」の「金印公園（きんいん）」。1784（天明4）年に農民・甚兵衛が、1世紀頃の大陸との交流を示す金印「漢委奴国王印（かんのわのなのこくおういん）」（国宝）を発見したと伝えられる場所で、眺望も素晴らしい。

“福岡にこんなに青い海が！”と驚くほど美しい、志賀島の「勝馬海岸」（上）。島には豊かな自然のほか、全国（わたつみ）の綿津見神社（かつみ）の総本宮「志賀海神社」（右）もある。

閑静な住宅街にある本社（自宅兼事務所）。「平成元年に建てられたので、もう30年になります。もともと祖父の自宅で、小さい頃は私も一緒に住んでいました」（川口社長）。

P R O F I L E

■川口吹付工業株式会社
（九州ニットク・アメニティシステム会会員）

- **創業**／1951（昭和26）年2月1日
- **設立**／1971（昭和46）年10月1日
- **資本金**／1,000万円
- **代表者**／代表取締役　川口大介
- **所在地**／〒815-0074
  福岡市南区寺塚1-15-1
  電話（092）511-6933
  FAX（092）511-6935
- **事業内容**／吹付工事、各種塗装工事、外壁改修工事、防水工事、アスベスト処理工事
- **従業員数**／4名

●お知らせ

「日本特殊塗料株式会社 創立90周年記念式典、祝賀会」を開催

6月1日、「創立90周年記念式典、祝賀会」を品川プリンスホテルで開催しました。今回の式典、祝賀会では、ニットクの全従業員、海外を含む出向者とOB・OG、730名が一堂に会する機会となりました。

式典は、新しい会社案内ビデオをお披露目する形でスタートしました。続いて、

▲式典でのビデオ公開

田谷専務の開会の辞、野島会長、酒井社長の挨拶、労働組合を代表して松原中央執行委員長、OB・OGを代表して柴田様にご挨拶をいただきました。各種表彰は代表者のみの表彰を行ないました。

＊　　＊

●酒井社長挨拶

本日、日本特殊塗料株式会社は創立90周年を迎えることができました。まずは、創業者の仲西他七氏、そして、現在に至る経営基盤を築き上げていただいた仲西太郎氏の功績に深く感謝いたします。そして、すべての先輩方、さらにはニットクに関係するすべての皆様の、これまでの挑戦と頑張りに感謝いたします。

また、本日はこのように多くの皆様に参加していただきましてありがとうございます。前回、記念式典を全社で開催しましたのは創立60周年のときでしたので、今回は30年ぶりの創立記念式典になります。重ねましてすべての関係者の皆様に感謝いたします。さらに、今回の創立90周年は令和元年ということで、日本の新しい時代の始まりとともに、ニットクも一緒に新しい時代を築いていけるということで、本当に記念すべき節目の年になりそうです。

ところで、人の世では1世代30年といいますが、ニットクも、ほぼ30年周期で成長、発展してまいりました。1929年、ニットクは航空機用塗料で創立し、戦後にはスレコートとアンダーシールが大ヒットしまして、創立から32年後の1961年に東証2部へ上場しました。1つ目の節目の年になります。この時には、旧本社社屋

▲酒井社長の挨拶

▲式典

ビルと技術研究所、そして愛知工場が新設されています。

その後、アンダーシールは自動車製品事業本部へ発展し、スレコートは塗料事業本部へ発展して、東証2部上場から30年後の1991年に東証1部へ昇格しました。2つ目の節目の年になります。この時には、開発センターと東九州工場が新設されています。

そして、塗料事業本部は屋根材、防水材、塗り床材の新規開発・拡販を進め、自動車製品事業本部はグローバル展開を進めて、今回、3つ目の節目の年となる創立90周年を迎えることができました。今回は、新しい本社ビルと愛知新工場を建設させていただきました。

竹は節目を作りながら強くしなやかに成長していきますが、これからのニットクも記念すべき節目の年を作りながら、強くしなやかに成長してほしいと願っております。

ニットクの最も大切な長期ビジョンは、「塗料と防音材を柱に、快適環境を創造し、社会に貢献できる会社でありたい」ということです。つまり、塗料と防音材でお客様に喜んでいただける快適環境を提案、提供することが、これからもニットクが挑戦していくビジネスだと考えております。

また、ニットクの社是は「創意工夫」ですが、私はこれを開拓精神と捉えています。私はニットクに入って41年になりますが、これまでを振り返りますと、新製品開発や海外進出などニットクは本当に開拓精神にあふれたものづくりの会社であったと思います。よって、これからも社員の皆さんが、失敗を恐れずに、やりたいことにチャレンジできる、風通しの良い明るい社風となるように努めていきたいと思います。

次の大きなイベントは創立100周年になりますが、次回も創立記念式典が開催されることを期待しております。最後になりますが、ニットクの健全な成長と、本日お集まりの皆様のますますのご発展とご健勝を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。

＊　　＊

式典に続いて、祝賀会は会場を隣に移しての開催です。今回は来賓をお迎えしない社内イベントだったこともあり、皆の盛り上がりを考慮して、急遽予定を30分早め、16時から開催するなど、たいへんニットクらしく自由で楽しい雰囲気の中、全員で創立90周年をお祝いすることができました。

▲祝賀会

▲祝賀会・鏡割り

▲祝賀会・「東京TAIKO GIRLS」による太鼓のステージ

▲祝賀会・野島会長の乾杯

■「創立90周年記念式典」式次第（14時～15時）
- ●会社案内ビデオ
- ●開会の辞：田谷専務
- ●挨拶：野島会長、酒井社長、組合代表／松原中央執行委員長、OB・OG代表／柴田様
- ●祝電披露
- ●各種表彰
  - 永年勤続表彰：代表者
  - 功労善行表彰：代表者
  - 提案表彰：代表者
  - 新車紹介販売表彰：代表者

■「創立90周年記念祝賀会」式次第（16時～19時）
- ●開会の辞：田谷専務
- ●90周年記念ビデオ
- ●鏡割り：野島会長、酒井社長、田谷専務、組合代表／松原中央執行委員長、OB・OG代表／柴田様
- ●乾杯：野島会長
- ●事業所紹介（前半）：九虹会、東九虹会、広虹会、愛虹会、静虹会、東虹会、日虹会
- ●太鼓のステージ：「東京TAIKO GIRLS」
- ●事業所紹介（後半）：UGN（米国）、WNA（中国）、TNA（インドネシア）、TAN（中国）、ANG（中国）、SNC・SRN（タイ）、オートニウム（スイス）
- ●モザイクアート抽選会
- ●中締め挨拶：遠田常務

●お知らせ

■第113期「定時株主総会」を開催

6月21日、第113期「定時株主総会」を東京都北区王子の北とぴあで開催しました。

午前10時の開催を前に、会場前ロビーでは、最新の自動車用防音技術や「超撥水」と題した最新の塗料技術、各種製品等を展示し、来場株主の皆様に当社の高い技術をご案内するとともに、会場内では90周年を機に新たに作成した会社案内のビデオを上映するなど、当社を知っていただくたいへん良い機会にもなりました。

議事につきましては、議長（酒井社長）による第113期の事業、決算内容の報告、決議事項の説明、その後の採決と滞りなく進行し、全議案とも多数の賛同を得て原案通り承認可決されました。具体的には、剰余金の処分については期末配当金を1株につき20円（年間で36円）とすること、また、定款の一部変更と取締役の報酬額改定を決議し、さらに新任の取締役2名を含む取締役11名、および監査役1名を選任いたしました。なお、株主総会後の取締役会において、酒井副会長、田谷社長の就任を決定しております。

ご出席、ご協力をいただきました株主の皆様には改めて感謝申し上げるとともに、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▲会場前ロビーの展示コーナー

▲議長の酒井社長

▲総会会場

■塗料事業本部

「第3回全国日特会」を開催

6月13日、「第３回全国日特会」を札幌プリンスホテルで開催しました。

日特会は、当社製品を取り扱っていただいている販売店による特約店会です。全国より、49社が出席されて式典と懇親会を行ないました。また、翌日も「ゴルフコース」と「観光コース」に分かれて親睦を深めました。

日特会の歴史は、65年前の1954年1月に「東京日特会」を発足したことに始まります。いまでは「東北日特会」「東京日特会」「中部日特会」「近畿・北陸日特会」「中四国日特会」「九州日特会」と全国に拡大しています。

式典では、日特会各社への感謝状の贈呈を行ないました。その後は、野島会長より「ニットクの歴史について」と題し、特別講演を行ないました。参加された販売店の皆様には、歴史を通していままで以上に当社のことをご理解いただけたことと思います。

全国日特会は、10年前のニットク創立80周年の時に第2回を開催し、今回が3回目です。次回の開催は、当社が創立100周年を迎える節目の年となる予定です。10年先の未来に向けて、改めて皆様と信頼関係を深める良い機会となりました。

▲式典後の記念撮影

▲ゴルフコースの皆様

▲観光コースの皆様

■業務本部

「投資家向けの決算説明会」を開催

6月11日、「第113期決算説明会」を、午前10時から、東京都中央区の日本証券アナリスト協会会議室（東京証券取引所前）で開催しました。

機関投資家、証券アナリストやマスコミの方を対象とした決算説明会は今年で５回目となりましたが、今回はこれまでで一番多く、50名超の方にご参加いただきました。

会場ではスライドを用いて、酒井社長、田谷専務より第113期決算と第114期計画のポイントと当社の事業概要、今後の成長戦略などについて説明いたしました。その後、売上が大きく伸びているフロアカーペット等、吸･遮音材の販売状況、海外関連会社の動向や塗料事業の今後の成長戦略等について、投資家、マスコミの皆様より多くのご質問を受けました。今回も当社グループの事業に対する注目度の高まりを肌で感じ取った説明会となりました。

終了後のアンケートでは、中長期的な事業の展望についてより詳しく知りたいといったご要望等をいただき、当社としても、より一層投資家の皆様との対話の充実に努めてまいりたいと考えております。

なお、説明会で使用した資料は、当社ホームページにも掲載していますので、興味のある方はぜひご覧ください。

▲酒井社長の説明

▲田谷専務の説明

▲満席となった説明会会場

■自動車製品事業本部

ニットクでの古着リサイクルの取り組みが、環境省「Re-Style」で紹介されました。

環境省では循環型社会のライフスタイルを「Re-Style」として提唱し、その活動や取り組みの浸透を呼びかけています。また、3R（リデュース、リユース、リサイクル）や限りある資源の大切さを多くの皆様に知ってもらうため、さまざまなコンテンツを発信する環境省Webサイトの名称としても活用し、全国で一体感を持った取り組みとして推進しています。

今回、同取り組みのReスタリポート第5弾とし、「潜入！～“スペシャル衣装”の未来を追え！～」と題して、当社の静岡工場でのリサイクルの取り組みが紹介されました。紹介いただいたのは、Re-Styleサポーター“お掃除ユニット名古屋CLEAR'S”の4名です。古着が防音材になって、循環してることをレポートしていただきました。ホームページ（http://www.re-style.env.go.jp/）で紹介されていますので是非ご覧ください。

環境省では、「限りある資源を未来につなぐ。今、僕らにできること。」をキーメッセージに、環境の面だけではなく、歌やダンス、アニメや動画などのサブカルチャーなどと連携したコンテンツを発信し、楽しみながら3Rについて知り、循環型社会のライフスタイル「Re-Style」を始めていけるような情報を発信しています。

▲「Re-Style」ホームページ

●お知らせ

『環境・社会報告書2019年版』を発行

7月に2019年版を発行しました。当社では環境に配慮した企業活動の報告として、『環境・社会報告書』を毎年発行しています。以下の項目について詳細に記載していますのでぜひご覧ください。なお、この『環境・社会報告書2019年版』は当社のホームページでも公開しています。

①環境保全の基本理念、環境方針
②コーティング・ケア実施宣言
③環境マネジメントシステム ISO 14001
④グリーン調達ガイドライン
⑤環境配慮型製品の開発（該当製品の紹介）
⑥環境負荷低減に対する取り組み
⑦化学物質排出削減の取り組み
⑧GHS対応SDSの取り組み
⑨環境会計
⑩品質保証に関する取り組み
⑪安全衛生に関する取り組み
⑫コンプライアンスに関する取り組み
⑬地域社会との係わり

今後も企業としての環境に対する配慮や社会との係わりについて、皆様に適切で正確な情報提供を行なうとともに誌面の充実をはかっていきます。

■塗料事業本部

新製品「1液ウレタン防水塗料 プルーフロンC-200DX」のご案内

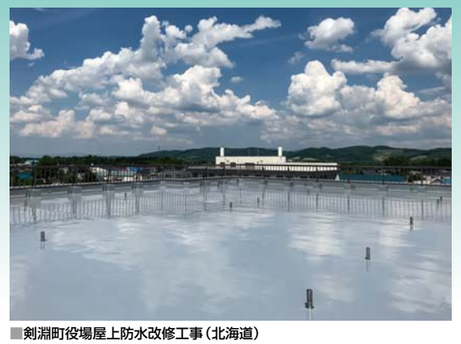
DIY販売部では、ホームセンター向けに長年にわたり建築用ウレタン塗膜防水材を販売しています。今回、建築用ウレタン塗膜防水材「ベランダ屋上防水塗料 プルーフロンC-200」が「1液ウレタン防水塗料 プルーフロンC-200DX」へと新しくなりました。

従来品は危険物第4類第2石油類でしたが、「1液ウレタン防水塗料 プルーフロンC-200 DX」は可燃性液体類となり、危険物の度合いが下がった環境に配慮した製品です。従来品とは違い2液性ではなく、1液性の材料であるため作業性が良く、初めての方でも簡単に本格的な防水施工が可能です。また、平滑性が高いため、ヘラやコテで塗った面の跡も自然に消えていきますので綺麗に仕上がります。

標準仕様は中塗りの2回塗りです。建物の揺れに対する追従性が良く、2㎜の防水層がベランダ・屋上をしっかりと防水します。今回は、専用プライマー、専用トップコートのデザインも一新しましたので、下塗り、中塗り、上塗りの関係が分かりやすくなりました。ぜひお近くのホームセンターで確認いただき、ご検討ください。

街を彩るニットクの製品

■日向醗酵食品㈱（北海道）
塗り床材「ユータックコンプリート」CPM-4N工法/120㎡
施工/千葉塗装店



■剣淵町役場屋上防水改修工事（北海道）
建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」X-1工法/370㎡
建設/大野土建㈱
施工/㈱プラテック

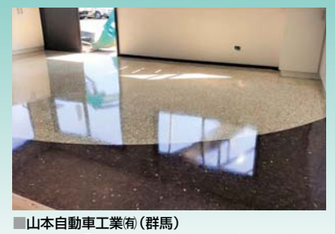
■羽後町立学校給食共同調理場（秋田）
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ防滑工法2.0㎜/900㎡
塗り床材「ユータックコンプリート」CPM-4N工法/200㎡
建設/㈱柴田組
施工/㈲共立塗装

■宮沢賢治イーハトーブ館（岩手）
建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」X-2工法/200㎡
建設/㈱小原建設
施工/㈱TERUI

■ヨークベニマル成島店屋根改修工事（山形）
建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/3,330㎡
建設/前田建設工業㈱
施工/㈱ワタナベ建装

■㈱ガーデンクリエイト関東（栃木）
塗り床材「ユータックE-30N」/1,500㎡
施工/㈱Rays

■㈱三義漆器店（福島）
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法1.0㎜/1,350㎡
施工/光塗装㈱



■山本自動車工業㈲（群馬）
塗り床材「ユータックE-30N」エポキシテラゾー工法/100㎡
施工/㈱タナカペインティング

■㈱三和　太田第１工場（群馬）
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/6,000㎡
施工/㈱タナカペインティング

■ソマール㈱草加事業所 N-2棟外壁、屋上改修工事（埼玉）
建築外装用塗料「シルビアサーフ+シルビアWS-300」/3,900㎡
建築用塗膜防水材「プルーフロンエコ」X-1遮熱工法/2,100㎡
設計・施工/ニットクメンテ㈱

■㈱常磐植物化学研究所（千葉）
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F工法/650㎡
施工/五十嵐建工

■足立区新西新井公園タコさんすべり台（東京）
建築外装用塗料「シルビアNADウレタンN」/100㎡
施工/㈱船木塗装

■ナイスアーバンセンター南（神奈川）
屋上：建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」通気緩衝工法/308㎡
バルコニー開放廊下他：建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」密着工法/390.7㎡
管理会社/ナイスコミュニティー㈱
施工/㈱フジキ

街を彩るニットクの製品

■川崎市某小学校（神奈川）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」断熱機械固定工法X-1工法
他/3,769.7㎡
設計/川崎市まちづくり局

■スーパチンコ沼津平沼店改装工事（静岡）
建築外装用塗料「シルビア1液スーパーシリコン」/1,300㎡
施工/㈲ケイワイクリエイト

■岐阜市某屋上防水工事（岐阜）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」通気緩衝工法X-1工法/128.7㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」クロス入り密着工法X-2立上り工法/64.5㎡
施工/安全防水工事㈱

■忠岡グリーンハイツ（大阪）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/470㎡
建設/ベルフォアジャパン㈱
施工/㈲マエダ化研

■愛媛県立道後公園駐車場（愛媛）
塗り床材「ユータックテクノ遮熱ONE」薄膜工法標準仕様/20㎡
施工/四国ニットク・アメニティシステム会

■南予文化会館防水改修工事（愛媛）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/802.2㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法/595.3㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」PK-D30G工法/1,892㎡
施工/㈲ヤマナカ

■瀬戸市某工場外壁塗装（愛知）
建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアセラティーN」/600㎡
施工/カトー建材工業㈱

■名古屋市某オフィスビル駐車場、通路（愛知）
駐車場：塗り床材「ユータックスーパーFハード」防滑工法+「ユータックR」/138㎡
通路：塗り床材「ユータックR」コーティング防滑工法/30㎡
施工/㈲ベストフロア

■ショッピングモール歩行帯、車いす使用者用駐車施設他（愛知）
塗り床材「ユータックRマイルド」マイクロ骨材仕様/2,000㎡
建設/西松建設㈱
施工/㈱シンエイライフ

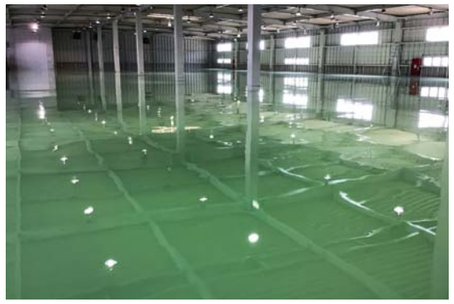
■某学校屋上防水改修工事（広島）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法（下地アスファルト防水露出仕上げ）/935㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法/234.6㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2立上り工法/146.5㎡
施工/丸福建材工業㈱

■リバーサイドネオ舟入屋上防水更新工事（広島）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」密着工法（オーバーレイ）遮熱防滑仕上げ/837.25㎡
施工/㈲大丸化工

■某球場コンコース塗膜防水改修工事その他工事（Ⅱ工区）（広島）
超速硬化塗膜防水材（スプレータイプ）「NTスプレータイプH」NF-DSH40UTS工法/3,165㎡
超速硬化塗膜防水材（スプレータイプ）「NTスプレータイプH」NF-DSH30UTS立上り工法/44㎡
施工/㈱アビチ

■三河安城駅連絡通路滑り止め修繕工事（愛知）
塗り床材「ユータックシリコンクリヤー」防滑工法/700㎡
設計/安城市
建設/㈱クサカ
施工/真和建装㈱

■ヤマダインフラテクノス㈱新社屋倉庫塗り床塗装（愛知）
塗り床材「ユータックコンプリート」CP-S工法（レッド）/1,100㎡
施工/小田建塗工業㈱



■某倉庫帯電防止床塗装工事（愛知）
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/4,000㎡
施工/小田建塗工業㈱

■某小学校プール塗装改修工事（広島）
プール用塗料「プールエース」PEU-1 RA-RC工法/420㎡
施工/㈱エイトコーポレーション

■ジャガーランドローバー広島新築工事（広島）
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/450㎡
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」+塗り床材「ユータックスーパーFハードN」複合工法/500㎡
施工/古賀工業㈱

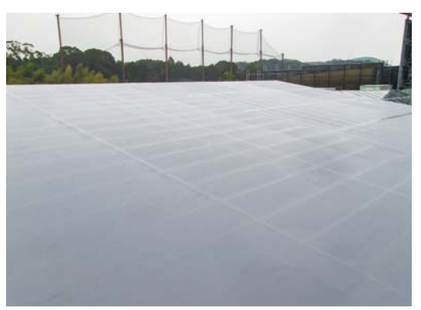
■某高等学校武道場棟屋上防水改修工事（広島）
超速硬化塗膜防水材（スプレータイプ）「NTスプレータイプS」NY-SS20S工法/867㎡
施工/聡明工業㈱

■伊良湖　浮桟橋（愛知）
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル工法/160㎡
施主/㈱IMS

■メッキ工場塗り床改修工事（愛知）
塗り床材「ユータックVE-100」1プライライニング工法/600㎡
施工/㈱愛知レジン

■伊勢志摩みやげセンター王将（三重）
甲板：建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコMID」/100㎡
船体：建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/300㎡
施工/㈱大建

■中央炉材鉱業㈱境川倉庫新築工事（大阪）
塗り床材「ユータックコンプリートG」CPG-4F工法/350㎡
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ防滑工法/200㎡
建設/菱和建設㈱
施工/㈱ダイト工業

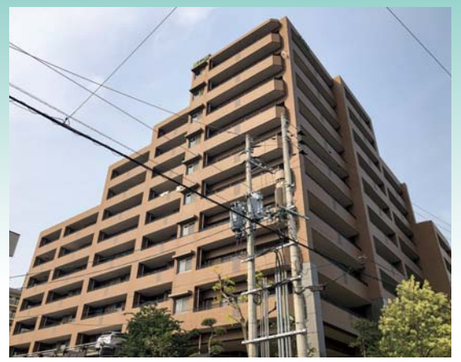


■某映画館屋上防水改修工事（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」PM-20S工法/5,000㎡
建設/東急建設㈱
施工/㈱ムトウ、㈱安河内工業

■赤坂けやき通り保育園新築工事（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロン」X-2+塗り床材「ユータックUグラウンドコート」複合工法/230㎡
施工/九州防水㈱

■某物流倉庫塗り床改修工事（福岡）
塗り床材「ユータックコンプリート」CPLS-10F工法/350㎡
施工/㈱コウケン工業

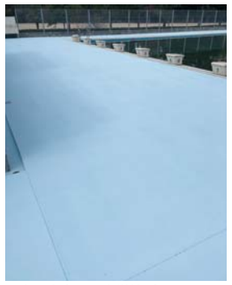
街を彩るニットクの製品



■JGMヴェルデコレクション長尾中央公園大規模修繕工事（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロンエコONE」X-1工法/946㎡
建築塗膜防水材「ブルーフロンエコONE」X-2工法/720㎡
建築塗膜防水材「ブルーフロンエコONE」PM-I20ES工法/378㎡
施工/㈱ダイニチ

■花畑ガーデン保育園計画新築工事（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロン」X-2＋塗り床材「ユータックUグラウンドコート」複合工法/433.8㎡
施工/九州防水㈱

■三国が丘連絡橋補修工事（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロン」PM-V20G＋塗り床材「ユータックUグラウンドコート」複合工法（誘導・警告タイル施工）/259㎡
施工／㈱ライタクト



■小郡市立三国中学校プールサイド改修工事（福岡）
塗り床材「ユータックシリカ遮熱」ローラー防滑工法/530㎡
施工/㈲コクト装業

■ウエディング石川屋上防水改修工事（長崎）
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/1,200㎡
施工/マエセ防水

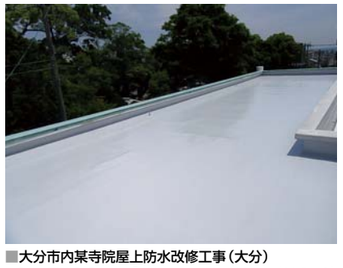
■九電テクノシステムズ㈱（福岡）
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/400㎡
施工/川口吹付工業㈱

■サンシャインA棟・B棟・C棟（佐賀）
建築屋根用塗料「リリーフNADシリコン」/500㎡
施工/鷹巣塗装

■ケイエスケイツール㈱（佐賀）
建築外装用塗料「シルビアセラティーN」遮熱仕様/1,000㎡
施工/㈱丸田塗装

■某化粧品工場新築工事（佐賀）
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-4F工法/15,000㎡
建設/㈱藤木工務店
施工/㈱ヒロショウ技建

■佐賀県某海苔乾燥工場（佐賀）
建築屋根用塗料「ニューリリーフトップ」/2,000㎡
建築外装用塗料「シルビアNADシリコン」/2,000㎡
施工/岡総合塗装



■大分市内某寺院屋上防水改修工事（大分）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/267㎡
施工/アイシン㈱

■大分市内某マンション屋上防水改修工事（大分）
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法（トップコート遮熱仕様）/210㎡
施工/アイシン㈱

■大分市内某マンション屋上防水改修工事（大分）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/234㎡
施工/アイシン㈱

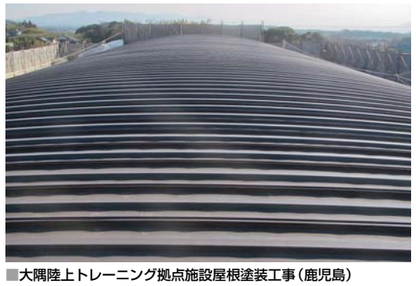
■平成30年度上教建第４号維和小学校屋上防水改修工事（熊本）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法（圧送ウレタン）/614㎡
施工/㈱オフィス・エスビーケー

■特別養護老人ホーム清谿園改修工事（2期工事）（鹿児島）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/2,283.6㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/1,296.6㎡
施工/鹿児島ビルド㈲

■老人介護保険施設虹の丘（鹿児島）
高弾性外壁防水塗材「ハイブルーフ」上塗りWS仕上げ/583.9㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-1工法
建築塗膜防水材用上塗り塗料「ブルーフロンGRトップ」遮熱仕上げ/491.8㎡
施工/㈲有村防水

■朝日中学校校舎屋根防水補修・台風24号災害（鹿児島）
仮防水・建築塗膜防水材「ブルーフロンアクア」
超速硬化塗膜防水材（スプレータイプ）「NTスプレータイプS」X-2工法
建築用塗膜防水材用上塗り塗料「ブルーフロンGRトップ」遮熱仕上げ/959.9㎡
施工/㈲有村防水

■聖隷かがやき移転新築工事（鹿児島）
超速硬化塗膜防水材（スプレータイプ）「NTスプレータイプS」X-2S工法
建築用塗膜防水材用上塗り塗料「ブルーフロンGRトップ」遮熱仕様/662㎡
建設/伊藤建設㈱
施工/㈲有村防水

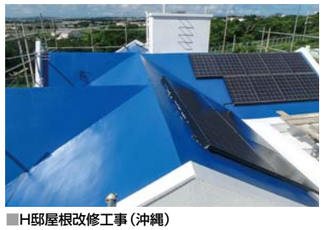


■大隅陸上トレーニング拠点施設屋根塗装工事（鹿児島）
建築屋根用塗料「リリーフNADフッ素」/1,000㎡
施工/㈲有明塗装店

■上地邸　屋上防水改修工事（沖縄）
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/111.6㎡
施工/㈱オキナワ技研

■上間第２調整池及び中城調整池屋上防水修繕工事（沖縄）
建築屋根用塗料「リリーフNADシリコン」/4,928㎡
建設、施工/㈱ニューテック

■コーポ加島外壁改修工事（沖縄）
建築外装用塗料「シルビアセラティーN」ウールローラー工法/1,233.4㎡
施工/㈱オキナワ技研



■H邸屋根改修工事（沖縄）
建築屋根用塗料「パラサーモシールド」ローラー仕上げ工法/124.8㎡
施工/㈱オキナワ技研

■JSLインターナショナル屋上防水改修工事（沖縄）
建築塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/482.8㎡
施工/㈱オキナワ技研

改修工事予定の方をご紹介ください。

ご紹介いただきました工事予定の方には、最寄りの安心できる「ニットク･アメニティシステム連合会」の施工業者様をご紹介いたします。お気軽に最寄りの営業所へお声掛けください。

対象は、戸建て住宅、工場などの「内外装工事」「屋根塗装工事」「防水工事」「塗り床工事」などです。

●感謝の気持ちをお贈りします。
ご紹介いただきました工事が成約した場合、謝礼金として成約金額に応じて紹介料を施工業者様からお贈りします。